

「コスパ」「タイパ」そして「スペパ」「ウェルパ」

国際化に伴い新しい外来語が巷にあふれるようになってきました。その言葉をさらに、若者を中心に省略する形で使うようになり、今までになかった「カタカナ語」がメディアでも当たり前に使われるようになっていきます。そこで、今回は、その一部を紹介したいと思います。さて、みなさんは、見出しの「コスパ」「タイパ」「スペパ」「ウェルパ」をそれぞれのワードの意味、説明できるでしょうか？



コスパ

参考ホームページ: レアジョブ英会話 English Lab

「費用対効果」は Cost performance じゃない！？ コスパに関する表現を使いこなそう

コスト・パフォーマンスの略。「費用対効果」を意味する言葉で、この概念自体は、諸説あるようですが、40年ほど前から一部で使われ始めたようです。最近ではむしろ「コスパ」と短くした言い方のほうが一般化しているように感じます。このコスト・パフォーマンスは、英語がもとになっていますが、日本語の「費用対効果」を意味する英語は、「Cost-benefit performance」や「Cost-effectiveness」であり、「コスト・パフォーマンス」と英語圏の方にお話しても、うまく意図が伝わらないことがあるので要注意です。

タイパ

参考ホームページ: マイナビ キャリアリサーチ Lab

タイムパフォーマンス(タイパ)とは？言葉の意味や取り組むメリットについて解説

タイム・パフォーマンスの略。三省堂『辞書を編む人が選ぶ「今年の新語 2022」の大賞』を受賞したワードでもあります。マーケティングアナリストで芝浦工業大学 教授 原田 曜平 氏が2015年に思いついた造語です。「時間対効果」を意味し、費やした時間と得られた満足度の相対性を意味する言葉です。短い時間で大きな満足を得られた場合を「タイパが良い」、逆に費やした時間に対して小さな満足しか得られなかった場合を「タイパが悪い」と表現します。こちら、和製英語なので英語では通じません。「Time-effectiveness」と表現するようです。

スペパ

参考ホームページ: All About 暮らし

コスパ、タイパに続くトレンド「スペパ」とは？ 家事のプロが提案する「スペパ最強」な暮らし方

スペース・パフォーマンスの略。一定のスペースをどれだけ有効活用できているかということの意味します。コンパクトなのに使い勝手が良いものを指す場合にも使われるようです。2023年ごろから使われだした言葉で、例によってこちらも和製英語です。「デッドスペース」をうまく活用して、ものを上手に収納したり、多機能の便利グッズを使ったりすることで、「スペパを高める」ことができます。また、いろいろなものをデジタル化することでもスペパの向上につながります。まずは身近なところで財布の中の小銭やポイントカードからどうですか？

ウェルパ

参考ホームページ: 朝日新聞出版 AERA dot.

次のトレンド「ウェルパ」はコスパやタイパを包含 お金より「自分のための時間」に価値

ウェルビーイング・パフォーマンスの略。「ウェルパ」は、電通未来事業創研の立木 学之 氏が生み出した造語で、2024年になって少しずつ使われ始めてきたトレンドワードです。自分の行動や購入する商品・サービスが、自分自身や社会のためになっているかという指標であり、コスパ・タイパなどの概念と関係し合う言葉と言えます。立木氏は「2030年代に向けて注目している新たな価値概念」としています。とは言え、自分自身の心と体の健康のために、きっと無意識のうちに「ウェルパの高い選択」をしているのではないのでしょうか？

※ウェルビーイングについては、NEWS LETTER 第13号でも取り上げていますので、バックナンバーからご確認ください。

★新潟県の生涯学習の情報なら

ラ・ラ・ネット

検索

お問い合わせ：新潟県立生涯学習推進センター TEL 025-284-6110

『NEWS LETTER』バックナンバーはこちらから

